



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月13日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決算説明の動画を配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	37,274	6.0	2,213	6.6	2,718	3.2	1,913	10.9
2019年3月期	35,170	11.4	2,076	△17.0	2,634	△18.8	1,724	△22.6

(注) 包括利益 2020年3月期 722百万円 (75.7%) 2019年3月期 411百万円 (△88.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	140.91	—	6.4	5.6	5.9
2019年3月期	127.03	—	5.7	5.7	5.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 382百万円 2019年3月期 442百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	47,320	31,867	63.0	2,194.75
2019年3月期	48,958	31,791	61.0	2,199.96

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,798百万円 2019年3月期 29,869百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,829	△1,111	△1,508	7,150
2019年3月期	2,121	△6,510	3,500	6,947

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00	610	35.4	2.0
2020年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00	651	34.1	2.2
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

2021年3月期の第2四半期及び期末の配当については、現時点において合理的に今後の業績予想を算定することが困難であるため、未定といたしました。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	13,900,065 株	2019年3月期	13,900,065 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	322,818 株	2019年3月期	322,724 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	13,577,308 株	2019年3月期	13,577,422 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	16,380	△5.8	411	△20.8	1,179	△14.7	996	△10.3
2019年3月期	17,396	6.3	519	△14.8	1,381	△9.4	1,111	△10.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	73.41	—
2019年3月期	81.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	31,656		20,156		63.7		1,484.59	
2019年3月期	33,644		20,699		61.5		1,524.58	

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,156百万円 2019年3月期 20,699百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦等による中国経済の減速そして英国のEU離脱等による影響で不透明感が増している中、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各国で経済活動が大幅に制限されており、非常に厳しい状況にあります。また日本経済は、消費増税や台風等の影響から2020年の年明け以降回復が期待されていましたが、世界経済と同様の理由により今後も含め暫くは回復が望めない状況にあります。

このような環境下、一昨年8月から当社グループの一員となった米国QualiChem社の影響もあり売上高は前期比6.0%増の37,274百万円となりました。また、営業利益は前期比6.6%増の2,213百万円、経常利益は前期比3.2%増の2,718百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比10.9%増の1,913百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[日本]

国内の自動車生産台数は非常に厳しい状態が続いており、また米国及び中国向けの自動車部品の輸出についても減少しております。その結果セグメント売上高は前期比4.9%減の17,078百万円となりました。

セグメント利益は前期比8.7%減の759百万円となりました。

[南北アメリカ]

既存のアメリカ・ユシロは日系自動車メーカーの生産減の影響で前期の売上高を下回りました。また、ブラジル・ユシロは製品の価格改定及び国内の自動車生産台数が堅調に推移している影響で現地通貨ベースでは増収も換算為替の影響で円貨ベースでは減収となりました。しかし、メキシコ・ユシロは自動車生産台数が減少しているものの既存顧客のシェア拡大により増収、また一昨年8月から当社グループの一員となった米国QualiChem社の実績によりセグメント売上高は前期比49.7%増の11,280百万円と前期を大きく上回りました。

セグメント利益も QualiChem社の利益貢献及び昨年赤字であったブラジル・ユシロの黒字化により前期比148.8%増の985百万円となりました

[中国]

米中貿易摩擦の影響等により自動車生産台数が減少しており、その結果セグメント売上高は前期比11.1%減の4,340百万円となりました。

セグメント利益は、原材料価格の高騰及び人件費の上昇が続いている影響により前期比34.9%減の287百万円となりました。

[東南アジア/インド]

米中貿易摩擦による自動車生産台数の減少及び自動車部品の輸出が低迷している影響もありタイ・ユシロ及びマレーシア・ユシロは減収となりました。またインド・ユシロも新型コロナウイルスの影響等により減収となりましたが、インドネシア・ユシロは、国内の自動車生産台数は減少しましたが既存顧客のシェア拡大により増収となりました。その結果、セグメント売上高は前期比4.4%減の4,575百万円となりました。

セグメント利益は、減収による影響はありましたがタイ・ユシロでの費用削減等により前期比10.9%増の593百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、前期末に比べ3.5%減少し、18,603百万円となりました。主な要因として、受取手形及び売掛金が560百万円、原材料及び貯蔵品が132百万円減少したことが挙げられます。

固定資産は、前期末に比べ3.2%減少し、28,717百万円となりました。主な要因として、保険積立金が184百万円、繰延税金資産が138百万円、機械装置及び運搬具が126百万円増加し、一方、投資有価証券が1,152百万円、のれんが254百万円、顧客関連資産が132百万円減少したことが挙げられます。

この結果、総資産は、前期末に比べて3.3%減少し、47,320百万円となりました。

②負債

流動負債は、前期末に比べ6.6%減少し、8,893百万円となりました。主な要因として、支払手形及び買掛金が645百万円減少したことが挙げられます。

固定負債は、前期末に比べ14.2%減少し、6,559百万円となりました。主な要因として、長期借入金が775百万円、繰延税金負債が321百万円減少したことが挙げられます。

この結果、負債合計は、前期末に比べて10.0%減少し、15,453百万円となりました。

③純資産

純資産合計は前期末に比べ0.2%増加し、31,867百万円となりました。主な要因として、その他有価証券評価差額金が929百万円減少し、為替換算調整勘定が380百万円変動、一方、利益剰余金が1,302百万円増加したことが挙げられます。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における、現金及び現金同等物の残高は、7,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により2,829百万円の収入超過となりました。主な要因は、仕入債務の減少額658百万円、法人税等の支払額508百万円、持分法による投資利益382百万円があったものの、税金等調整前当期純利益2,734百万円、減価償却費997百万円、売上債権の減少額521百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により1,111百万円の支出超過となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入236百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出814百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により1,508百万円の支出超過となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出876百万円、配当金の支払額610百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しは、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くと見込まれ、感染症の拡大が世界経済を更に下振れさせるリスクも懸念されます。

この様な状況下、現時点において今後の業績予想を合理的に算定することが困難であるため、連結業績予想は未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社連結財務諸表は、現在、日本基準を適用しています。国際財務報告基準(IFRS)の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,145	7,160
受取手形及び売掛金	7,196	6,636
商品及び製品	1,817	1,743
原材料及び貯蔵品	2,722	2,589
その他	420	486
貸倒引当金	△23	△13
流動資産合計	19,279	18,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,856	4,760
機械装置及び運搬具（純額）	1,363	1,489
工具、器具及び備品（純額）	396	482
土地	5,150	5,162
リース資産（純額）	50	89
建設仮勘定	51	101
有形固定資産合計	11,869	12,086
無形固定資産		
のれん	2,421	2,167
顧客関連資産	2,094	1,962
技術資産	704	647
商標権	617	568
その他	565	608
無形固定資産合計	6,403	5,954
投資その他の資産		
投資有価証券	10,720	9,567
保険積立金	472	656
長期預金	2	1
退職給付に係る資産	—	6
繰延税金資産	12	151
その他	220	307
貸倒引当金	△22	△15
投資その他の資産合計	11,406	10,676
固定資産合計	29,678	28,717
資産合計	48,958	47,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,351	3,705
短期借入金	2,343	2,344
リース債務	81	28
未払金	839	890
未払消費税等	46	117
未払法人税等	197	251
賞与引当金	396	396
役員賞与引当金	4	5
その他	1,258	1,152
流動負債合計	9,519	8,893
固定負債		
長期借入金	4,422	3,646
リース債務	62	69
繰延税金負債	1,487	1,166
役員退職慰労引当金	124	147
退職給付に係る負債	1,180	1,221
長期預り保証金	179	182
資産除去債務	16	16
その他	173	109
固定負債合計	7,646	6,559
負債合計	17,166	15,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,014	4,014
利益剰余金	23,275	24,577
自己株式	△426	△427
株主資本合計	31,112	32,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,661	731
為替換算調整勘定	△2,880	△3,261
退職給付に係る調整累計額	△23	△86
その他の包括利益累計額合計	△1,242	△2,615
非支配株主持分	1,922	2,069
純資産合計	31,791	31,867
負債純資産合計	48,958	47,320

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	35,170	37,274
売上原価	24,576	25,504
売上総利益	10,594	11,769
販売費及び一般管理費	8,518	9,555
営業利益	2,076	2,213
営業外収益		
受取利息	54	92
受取配当金	89	90
持分法による投資利益	442	382
その他	113	89
営業外収益合計	699	655
営業外費用		
支払利息	47	47
保険解約損	30	—
為替差損	17	55
その他	46	48
営業外費用合計	141	151
経常利益	2,634	2,718
特別利益		
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	—	18
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
固定資産除売却損	18	—
特別損失合計	18	2
税金等調整前当期純利益	2,616	2,734
法人税、住民税及び事業税	606	667
法人税等調整額	19	△62
法人税等合計	626	604
当期純利益	1,989	2,129
非支配株主に帰属する当期純利益	264	215
親会社株主に帰属する当期純利益	1,724	1,913

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,989	2,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△481	△928
為替換算調整勘定	△685	△187
退職給付に係る調整額	2	△62
持分法適用会社に対する持分相当額	△413	△227
その他の包括利益合計	△1,578	△1,406
包括利益	411	722
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	276	540
非支配株主に係る包括利益	134	182

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,249	4,046	22,229	△426	30,098
当期変動額					
剰余金の配当			△678		△678
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,724		1,724
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△31			△31
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△31	1,045	△0	1,013
当期末残高	4,249	4,014	23,275	△426	31,112

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,146	△1,915	△25	205	1,893	32,197
当期変動額						
剰余金の配当						△678
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,724
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						△31
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△485	△964	1	△1,448	28	△1,419
当期変動額合計	△485	△964	1	△1,448	28	△405
当期末残高	1,661	△2,880	△23	△1,242	1,922	31,791

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,249	4,014	23,275	△426	31,112
当期変動額					
剰余金の配当			△610		△610
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,913		1,913
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,302	△0	1,302
当期末残高	4,249	4,014	24,577	△427	32,414

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,661	△2,880	△23	△1,242	1,922	31,791
当期変動額						
剰余金の配当						△610
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,913
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△929	△380	△62	△1,373	146	△1,226
当期変動額合計	△929	△380	△62	△1,373	146	75
当期末残高	731	△3,261	△86	△2,615	2,069	31,867

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,616	2,734
減価償却費	923	997
のれん償却額	69	222
持分法による投資損益 (△は益)	△442	△382
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△109	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△63	△49
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25	23
受取利息及び受取配当金	△143	△183
支払利息	47	47
売上債権の増減額 (△は増加)	16	521
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△599	165
仕入債務の増減額 (△は減少)	248	△658
その他	87	△352
小計	2,651	3,071
利息及び配当金の受取額	262	312
利息の支払額	△47	△46
法人税等の支払額	△745	△508
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,121	2,829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△112	△50
定期預金の払戻による収入	394	236
投資有価証券の取得による支出	△8	△71
有形固定資産の取得による支出	△674	△814
有形固定資産の売却による収入	14	2
無形固定資産の取得による支出	△14	△69
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,226	—
非連結子会社株式の取得による支出	△37	—
その他	154	△343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,510	△1,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3	△2
長期借入れによる収入	5,102	103
長期借入金の返済による支出	△561	△876
配当金の支払額	△678	△610
非支配株主への配当金の支払額	△252	△35
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△28	△87
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△76	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,500	△1,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△245	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,135	202
現金及び現金同等物の期首残高	8,082	6,947
現金及び現金同等物の期末残高	6,947	7,150

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に金属加工油剤を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「南北アメリカ」、「中国」及び「東南アジア／インド」の4地域を報告セグメントとしております。なお、「日本」セグメントでのみ、金属加工油剤のほか、ビルメンテナンス製品を生産・販売しております。報告セグメントの各地域に属する国は、次のとおりであります。

報告セグメント	国名
日本	日本
南北アメリカ	アメリカ、ブラジル、メキシコ
中国	中国
東南アジア／インド	マレーシア、タイ、インド、インドネシア

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,965	7,537	4,880	4,787	35,170	—	35,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,045	2	16	83	1,148	△1,148	—
計	19,011	7,539	4,897	4,871	36,318	△1,148	35,170
セグメント利益	831	396	441	535	2,203	△126	2,076
セグメント資産	15,376	6,120	4,717	4,775	30,990	17,967	48,958
その他の項目							
減価償却費	494	129	95	136	857	66	923
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 3	416	107	65	48	638	—	638

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益(営業利益)の調整額△126百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額6百万円、未実現利益の消去2百万円、QualiChem社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△130百万円であります。
 - (2)セグメント資産の調整額17,967百万円には、全社資産の金額6,800百万円、持分法適用会社への投資額6,335百万円、QualiChem社買収に係るのれん及び無形固定資産5,835百万円並びに報告セグメント間の債権債務の相殺消去等△1,004百万円が含まれております。
 - (3)減価償却費の調整額66百万円は、QualiChem社買収に係る無形固定資産の償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、新規連結に伴う増加額を含めておりません。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,078	11,280	4,340	4,575	37,274	—	37,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	911	2	5	90	1,009	△1,009	—
計	17,989	11,282	4,345	4,665	38,283	△1,009	37,274
セグメント利益	759	985	287	593	2,625	△411	2,213
セグメント資産	15,358	6,652	4,850	4,956	31,817	15,503	47,320
その他の項目							
減価償却費	414	176	91	120	803	193	997
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	547	146	299	95	1,089	—	1,089

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益(営業利益)の調整額△411百万円のうち主なものは、未実現利益の消去3百万円、QualiChem社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△416百万円であります。
 - (2)セグメント資産の調整額15,503百万円には、全社資産の金額4,882百万円、持分法適用会社への投資額6,352百万円、QualiChem社買収に係るのれん及び無形固定資産5,343百万円並びに報告セグメント間の債権債務の相殺消去等△1,075百万円が含まれております。
 - (3)減価償却費の調整額193百万円は、QualiChem社買収に係る無形固定資産の償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,199.96円	2,194.75円
1株当たり当期純利益	127.03円	140.91円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,724	1,913
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,724	1,913
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,577	13,577

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	31,791	31,867
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,922	2,069
(うち非支配株主持分)	(1,922)	(2,069)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	29,869	29,798
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	13,577	13,577

(重要な後発事象)

該当事項はありません。